

ブラジルレアルの更なる上昇余地を探る

- 米国の利上げ加速により新興国資産への先行き警戒感が高まる環境にあります。米国10年国債利回りが上昇基調にある中、ブラジルレアル（以下：レアル）は、大統領選挙を巡る政治への期待により、対米ドルや対円で反転上昇しています。
- 資源価格と比べると割安感があり、市場も政治の変化の可能性を織り込みにくい傾向もあることから、レアルは対米ドル並びに対円で一段の上昇余地があるとみられます。

米国利上げ加速観測が高まる中、大統領選挙の動向を受けレアルは対米ドルで反転上昇

足元では米国の利上げ加速観測もあり、新興国資産や通貨への先行き不透明感が高まる環境にあります。レアルは、昨年後半より対米ドルで軟調な展開が続き、2018年9月13日に1米ドル＝4.2レアルまで下落しました。しかし、その後は大統領選挙で極右政党のPSL（社会自由党）から出馬したボルソナロ氏の当選期待が次第に高まり、10月7日の1回目投票後も同氏が決選投票で勝利することへの期待から対米ドルで3.6レアルまで上昇しています。

28日の大統領選挙の決選投票では、各種報道からはボルソナロ氏が左派政党PT（労働者党）のアダジ氏を抑えて当選する可能性が高いとみられます。ボルソナロ氏は年金改革や財政再建に前向きな主張をしており、同氏が次期政権に就くことが決まった場合は、政党の連立や閣僚人事などの動きが注目されます。政党が乱立していますが、今回の議会選挙でPSLは、議席数を52（従来は8）に大きく伸ばしており改革推進力を強める可能性があると考えています。市場は政治の変化への期待を織り込みにくい傾向があると考えられます。また、中央銀行は緩和的な姿勢を徐々に取り除くことを示していることから、その動向などもレアルを下支える要因となるとみられます。

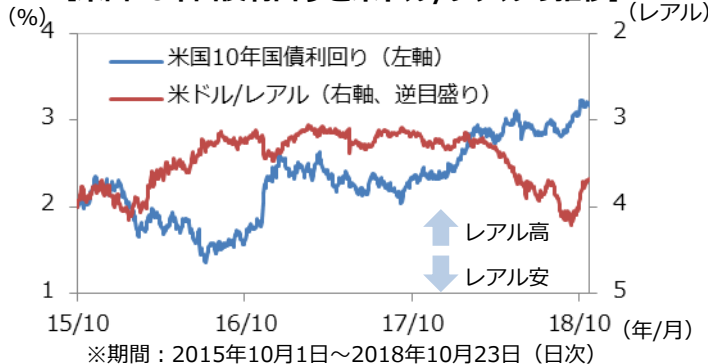
資源価格と比較するとレアルは割安な状況

レアルは、中期的にみてブラジルの主要輸出品である鉄鉱石価格や投資家から注目度の高いCRB指数などと連動した価格形成をしていると考えられ、足元では資源価格に比べ割安感が台頭していると考えられます。

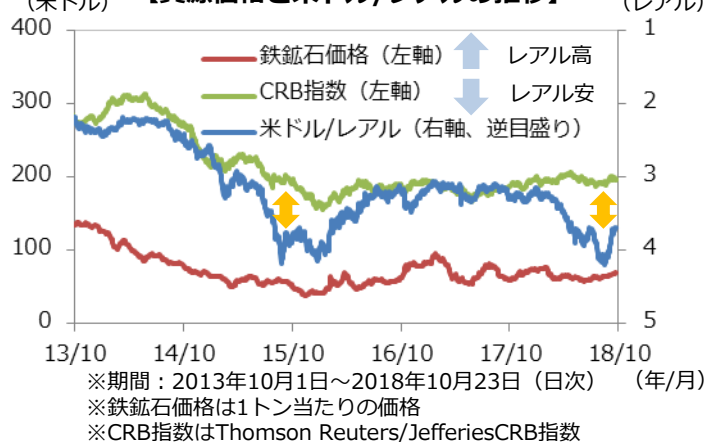
総合的にみて、レアルは対円で上昇余地がみられる

10月22日にレアルは対円で30.61円近辺となり、200日移動平均（30.37円）とのかい離率がプラスに転じています。テクニカル面では、レアルは下落基調に転じる可能性は低く、政治経済面の改善期待が高まる可能性など含めて考えると上昇余地があるものとみられます。

【米国10年国債利回りと米ドル/レアルの推移】



【資源価格と米ドル/レアルの推移】



【レアル/円と200日移動平均とのかい離率の推移】



出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は、過去の情報および作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（REIT）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

Thomson Reuters/JefferiesCRB指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は、Thomson Reuters及びJefferiesFinancial Products, LLCに帰属します。